

平成29年度事業計画

〔はじめに〕

公益社団法人長寿社会文化協会は、「ともに働き、社会に役立ち、元気に学び、もっと楽しもう」、「多世代の市民参加による長寿社会の活性化」の理念のもと、介護人材育成、認知症対応、社会参加等による生き甲斐づくり・地域の活性化、また介護予防事業などの分野で牽引的役割を發揮し、明るく元気で活力ある長寿社会の構築と発展に寄与することを目指し、地域包括ケアシステムの実現に貢献していきます。

また、介護人材の不足は現在及び将来にわたって我が国が直面する問題であり、対応の如何によっては我が国の介護事業のあり方を根本的に変える可能性があります。昨年11月、新たに外国人技能実習制度に関する法律が公布され、「介護職種」も技能実習の対象職種に追加されます。設立以来、他に先駆けて介護人材の育成に取り組んできた本協会としても、この問題は看過できないテーマであり、今回、この外国人技能実習制度においても、パイオニアの役割を果たそうと考えています。そのため、監理団体の許可を取得した後、監督官庁の変更認定を受け、外国人技能実習制度において他団体の模範となるような監理団体を目指します。

平成29年度目標は、事業規模2億円規模へ、またWACポイント、会員拡大に向け取り組み強化します。重点取り組みは、公益事業の「第三者評価事業」「コミュニティカフェ事業」推進はもとより、収益事業である「研修事業」「疑似体験事業」については更なる収益基盤の強化を図ります。そのため配置転換等の組織・体制強化に努め、本協会の基盤の構築を図ります。また、会員継続・法人会員含む会員獲得に向け各種研修会・セミナー等を開催していきます。

一方、公益事業の柱である「千葉県福祉ふれあいプラザ指定管理事業」では、千葉県高齢者保健福祉計画の基本理念・施策の推進方策に沿って重点課題に取り組めるよう自治体や地域包括支援センターの現状を把握して課題に応えられる事業を進めます。かつ、第4期指定管理(2019年4月1日～)獲得に向けた実績づくりを行います。また港区アクティブシニア就業支援センター「みなと＊しごと55」においては、引き続き都内アクティブシニア就業支援センターの中で存在感を示す取り組みを実施していきます。

会員に関して

会員拡大は本協会の基本的な課題であり、既存会員の退会防止に努めるとともに新規会員の拡大が重要施策となります。個人会員拡大は、ポイントづくりと併行して推進し「コミュニティカフェ事業」「生活支援サービス研修事業」により新たなポイントを創出し個人会員拡大を図ります（個人正会員数目標 160 人）。また、法人会員については、「研修会」「セミナー」を積極展開し新規法人会員の拡大を図ります（法人賛助会員数目標 35 社）。

(単位=千円)

収入予算	支出予算	収支残
6, 5 0 0	0	6, 5 0 0

事業に関して

【公益目的事業】

〔公1事業〕

≪高齢者福祉増進・啓発事業≫

○高齢者の福祉・健康・生きがいづくり等支援事業

(千葉県福祉ふれあいプラザ指定管理)

平成 28 年度は、指定管理第 3 期の重点課題である認知症予防への取り組みとして施設と事業の認知度向上を図るとともに、自治体等との連携強化を図りました。

平成 29 年度は、千葉県高齢者保健福祉計画の基本理念・施策の推進方策に沿って重点課題(特に地域包括ケアシステムの構築)に取り組めるよう自治体や地域包括支援センターの現状を把握して課題に応えられる事業を進めます。かつ、第 4 期指定管理(2019 年 4 月 1 日～)に向けた実績の確かな獲得を目指します。

1) 介護実習センター

高齢者の居場所づくりとして実施している「認知症助け合いカフェ」「地域の茶の間」「認知症の人と家族の集い」の参加者数増加を目指します。事業の目的である引きこもり予防、認知症の人を含めた地域での見守りについて啓発に努め、介護相談事業と合わせて取り組みます。地域包括ケアシステムの推進に向けて一般県民研修・専門職研修の講座を充実、新たな講座の開発に努めます。

2) 介護予防トレーニングセンター

利用者数が増加し、利用者の平均年齢も高くなっていることから、安全管理の強化とトレーニングメニューの見直しを図ります。平成 28 年度から開始した認知症予防講習「ピンピンキラリ初歩麻雀」は定員数を増加して参加者拡大を図ります。情報発信として出張介護予防教室の広報に努めます。

3) ふれあいホール

平成 28 年度に引き続き利用者満足度の向上を図るとともに、高齢者に配慮したサポート、安全管理を行います。また什器備品の経年劣化対策は県との交渉を含め継続対応していきます。さらにホールを利用した地域交流事業を発展させます。

(単位=千円)

収入予算	支出予算	収支残
87,150	87,150	0

○福祉サービスの質の向上事業

(第三者評価事業)

平成28年度、福祉サービス第三者評価を45件、利用者調査3件を受託し、評価を行いました。

今年度は評価の質の向上、新規顧客の拡大、事務局体制の見直しをテーマに掲げ、事業構造の再構築と事業規模11,000千円を目標として取組みます。

(単位=千円)

収入予算	支出予算	収支残
11,000	11,000	0

○長寿社会の啓発事業

(「ふれあいねっと(会員向け情報誌)」の発行)

平成29年度、会報誌「ふれあいねっと」は会員と本部を繋ぐ情報誌として年6回発行を目指します。また、編集内容等の見直しにより協会本部事業の活動報告、全国のポイント・ネットワークセンターの活動紹介の記事だけでなく、会員以外の人たちも興味を持ちそうな記事を掲載していきます。同時に、研修受講者を対象としたWAC通信・うらしま通信の随時発行、魅力あるホームページへのリニューアル、コミュニティカフェ・ブログ、フェイスブック、メールマガジンの充実により、広報体制の強化を図っていきます。

(単位=千円)

収入予算	支出予算	収支残
0	3,000	▲3,000

【公2事業】

《高齢者の雇用・支援事業》

(「みなと*しごと55」港区アクティブシニア就業支援センター)

平成29年度は契約更新年度です。5年間の更新を受注しました。各求人先においても人手不足等の影響もあり求職者数が減少傾向にあります。

このような環境の中、具体的取り組みとして広報みなと等への告知、ポスティング、新聞折り込み、ホームページの拡充等によりさらに認知度を高めるとともに、多くの求職者が集まるように魅力ある企画を実施していきます。

一方、求人情報を充実させるために、これまで以上の事業所への積極営業を展開して就職者数増加に繋げていきます。

<目標>

就職数：280人 求人開拓件数：1,600件 求人開拓延人数：3,300人

求職者数：2,200人（新規：1,000人、再来：1,200人）

（単位＝千円）

収入予算	支出予算	収支残
25,375	25,375	0

【公3事業】

《地域の相互扶助機能活性化事業》

（コミュニティカフェ）

平成28年度はコミュニティカフェ開設講座を東京で2期、認知症カフェ・ケアラーズカフェ開設講座を1期、千葉県ふれあい福祉プラザの出張県民研修として1期行い、3月には全国交流会開設講座発表会を開催しました。また、千葉県柏市、川崎市宮前区の講座に講師を派遣しました。

平成29年度は、コミュニティカフェに関心が高い団体・介護事業者への呼びかけを強化し開設講座を開催し、さらなるコミュニティカフェ事業推進によりポイント及び会員の拡大を図っていきます。また、自治体の講座の企画・運営、講師派遣にも取り組んでいきます。

（単位＝千円）

収入予算	支出予算	収支残
1,920	2,320	-400

【収益目的事業】

〔収1事業〕

《高齢者福祉関係人材育成事業》

・介護職員初任者研修（通信）

平成29年度介護職員初任者研修（通信）は、川崎市の公募型企画提案方式による「介護人材マッチング定着支援事業」に応募し、3,800万円を受注しました。また、㈱パソナからの委託事業（北区介護人材育成支援事業）として1コース134万円を行う予定です。

その他、WAC事務局主催で、東京都2コース（12人、2コース、240万円）を予定しています。

・生活支援サービス研修

昨年度に引き続き日常生活支援研修を実施していきます。

東京しごと財団より生活支援サービス研修120万円、府中市より「介護予防・日常生活支援総合事業における生活支援サービス研修」として業務委嘱105万円を受けています。

なお、WACが介護職員初任者研修（通信）の研修事業者として指定されている都道府県は、東京都、神奈川県、沖縄県、千葉県、埼玉県があります。最近ポイントが開催した初任者研修は一昨年WACおきなわ、昨年のWACふれあいネットまつどがあります。現在、受講料がダンピングされ、条件付きであるが3万円前後で行っている事業所もでてきています。価格競争が激しくなっている中で、他事業所と差別化できないか検討していきます。

喀痰吸引研修は、28年5月から教育訓練給付制度の対象となりましたが、28年度は開催できませんでした。受講についての問い合わせがあるので、実地研修を受けいれてくれる施設の確保を含めて開催の検討をしていきます。

(単位=千円)

収入予算	支出予算	収支残
42,000	32,000	10,000

〔収2事業〕

《高齢者・認知症疑似体験事業》

・高齢者疑似体験事業

平成29年度も営業取り組みの推進と研修内容の充実を図るため、役割分担とスケジュールを明確にして本事業を展開していきます。既存購入先へは、高齢者疑似体験活用に関する情報提供や平成28年度より開始した長期レンタル制度の案内、特別価格販売のお知らせ等、年に数回のフォローを継続的に行い、ニーズの掘り起こしに努めます。新規開拓としては、今、社会問題になっている高齢者の自動車事故の防止を切り口に警察および運転免許試験場で高齢者研修を委託されている自動車学校に対して、高齢者疑似体験研修の導入を提案し、高齢者の安全運転対策に取り組みます。また、介護人材育成研修事業と連携して、WAC研修の特長である高齢者疑似体験を取り入れた高齢者理解研修を広げていきます。

・認知症疑似体験事業

認知症疑似体験事業は研修ニーズも多く、マーケットは無尽蔵です。認知症疑似体験セット開発から時間が経っていることから認知症疑似体験プログラムに関する再度の調査・研究・開発と、新しく海外の認知症疑似体験プログラムの調査・研究をし、新しいプログラムを開発して、認知症疑似体験事業拡大のステップの年として取り組んでいきます。なお、平成29年度も全国への広報活動となるバリアフリー展へ出品します。

(単位=千円)

	収入予算	支出予算	収支残
高齢者疑似体験	19,000	10,000	9,000
認知症疑似体験	3,000	2,000	1,000

〔収3事業〕

《介護予防委託事業》

(品川区委託事業)

認知症、高齢者引きこもりの予防、生きがい・仲間作りの支援のため、自治体から介護予防事業として委託を受け、引き続き取り組みます。

(単位=千円)

収入予算	支出予算	収支残
7, 100	7, 000	100

・ **健康マージャン**

高齢者の仲間づくり、生きがいつくりとして自治体と協働でのマージャン教室の運営を継続していきます。

・ **男の手料理教室、わくわくクッキング、食事処**

事業は12年目を迎え、高齢者の介護予防事業として、東京ガスと協同で行っている品川区の委託事業です。教室受講生も運営する人も高齢者であり、料理を通じて、生きがい、健康、仲間づくりができており、介護予防事業として評価されています。平成29年度も引き続き継続実施します。

以上